



ニュースの
疑問が
よく分かる

Economics NEWS Headline

TPP交渉に参加、 問われる日本の通商戦略

Q. TPPに参加することによって私たちの暮らしに
どのような影響があるのでしょうか？

A. 私がお答えします！

経済学部3年(2010年度入学) 西村 早織 兵庫・県立宝塚北高校出身

TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)は、アジア太平洋地域の国々が自由な貿易を行うために障壁となる関税や規制を撤廃し、域内の経済活動を活発化させるための取り決めです。ただ、日本が現在進めているFTAやEPAに比べて、自由化されるものが多く懸念材料もあります。特に今まで自由化対象にならなかった農産物の関税撤廃に関しては日本農業が壊滅するといった議論もあり、TPP参加後も対処すべき課題は残っています。今後アジアでは更なるグローバル化やネットワーク化が進み、国際的な競争環境で生き抜く戦略が日本にも求められます。私はTPPに参加すると農業がどうなるかをTPPの賛否だけで考えるのではなく、日本経済の活性化とい

う長い目で見て、構造的な議論をすべきだと思います。「グローバル経済と環境・資源コース」では、TPPのようにグローバルな視点求められる議論や世界各国の経済成長、環境問題などについて学びます。私は、ゼミでの研究として、カンボジアの稲作における生産非効率性についての論文を書きましたが、そのデータを集めるためにゼミ生全員でカンボジアを訪れ、農村調査を行いました。初めての海外だったこともあり、調査はとても大変でしたが、ゼミの仲間と深い信頼関係が築け、現地大学生との交流や英語での研究報告など、一生忘れられない素晴らしい経験ができました。今後もアジアの発展に寄与できる研究を続けていきたいです。

私のおすすめ講義



開発経済学
アジアなどの発展途上国がどのように経済成長してきたかを、学ぶことができます。



アジア経済論
アジア各国の経済を様々な視点から考察します。日本参加の賛否が問われるTPPについても、詳しく学ぶことができます。

さらに知識を深めるなら
このゼミがおすすめ!



栗田 匡相 ゼミ

開発途上国の経済状況などを研究するために、実際に目で見て、行動して体で感じることを大事にしています。他大学との研究発表も多く、分析する力や論理的に考える力を身につけることができます。